週刊 時事経済

発行所
平市新川町17
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行

勉強で評判の店
丸萬家具店
店舗 平市四丁目 電六六三三
工場 平市白銀町 電六六三四

他市の偏見を一掃し 庁舎は平市に 新市名も平市

市民大会で満場一致決議

平市の経済人などで組織している市町村合併促進協議会ではさっぱり進まぬ合併問題に業をにやし、去る十二日公会堂本館に市民代表やく二百五十名が出席、合併のガンとなっている〝新庁舎の位置と新市名〟について協議した結果、新庁舎は平市に、新市市名は全国的に有名な平市にせよ。と満場一致で決議、代表が出県、木村知事、県会議長など関係方面に強く要望した。

平市側はこの問題については従来合併をスムーズに進めたいという見地から強く意見を陳べず沈黙を守ってきたが他の市が全く勝手気儘な主張を敢えてなし、事態を混乱に陥し入れようとするようにも見受けられるので、平市側は俄然いきり立ち、歴史的に地理的に、政治的に産業、文化交通的に石城の中心は平市であることが何人もいなむことの出来ない事実にあるので、他市の偏見や我田引水的エゴイズムを排して正当な主張を強く打ち出したものである。

この日山崎忠兵衛氏が発起人を代表して、合併問題も最終的段階にきたので、平市としては合併条件をはっきり明示する時期がきたから、意見を述べて欲しい、合併審議を見まもってきたが、最近に至って平市民感情に反する妥協案のようなものが流布されることは遺憾の極みであり、静観することは許されなくなったので、このこの集会をもったのであると開会の挨拶を述べ議長団五名を選出して、最初に大和田市長、志賀議長から合併審議の経過をきいた。この両氏から市民の要望に応えて、その実現に一路まい進する。と述べ、このほか出席者から夫々強い意見が陳べられたが、何れも新市庁舎は平市に新市名は平市にせよという意見が圧倒的であった。

なお当日の決議文は左の通り

【決議文】 われわれ平市民は常磐地区十四市町村合併の早期実現を念願しており、しかも新市の市名、市役所は歴史的にも地理的にも行政の中心都市として発展してきた平市に決定されるものと確信し、事態の推移を静観してきた。ところがこれに対する調整工作が行なわれているやに聞く。もしこれが事実とすれば常磐地区大多数の住民の要望に反するものであり、平市市民感情もこれを黙視することはできない。

よってわれわれは新市の本庁舎は平市内に必ず設置されることを絶対条件とし市名についても平易にして全国的に知られている「平市」とされるよう強く要望することを決議する。

内郷市庁舎が完成

内郷市綴町地内の旧内郷高校跡に建設を急いでいた鉄筋コンクリート三階延て（一部六階建て）の市庁舎三十九日午後、旧庁舎から移転、三十日から新庁舎で執務することになった。

昨年十一月四日に庁舎が全焼してから常磐炭鉱所有の浅野記念館を借り受け執務していた。来月中旬に新庁舎の落成式を行なう予定で、市ではこれを記念して総合文化祭をくりひろげる。

新庁舎は国道六号線沿いの内郷高校跡で総面積四千八百三十二・八平方メートルの三階建て（一部六階建て）。大同建設が工費七千三百七十六万円で請け負い、さる六月九日から工事を進めていた。新庁舎は一階が建設、税務、市民、保険衛生四課と福祉事務所、出納室。二階は市長室、助役室、会議室、商工農林、総務両課と公営企業部、企画室が置かれる。三階はこれまで公会堂の一部を使用していた教育委員会事務局と議会事務局、小会議室三室と大会議場となる。新庁舎近くには公会堂、消防署、授産場、警察署があり市民には便利になる

許さぬ越境入学

平市教委厳重に調査

昨年から越境入学の正常化に乗り出した平市教育委員会は、ことしも十一月末から戸別調査のうえ、居住地学区へ復帰させることになった。

市教委が十一月初めまでに受け付けた小学校の入学届け出の中で、越境入学と思われるものがすでに五十人近くもあり、あれだけ呼びかけてもこの始末とあきれている。今届け出に従って戸別訪問すれば、さらにこれを上回る見込み。

一方、来春中学校に入学する六年生の中には八十人前後の越境通学がわかっているので、来春までに正常化される越境入学正常化運動は昨年から始まったので、四十二年春には中学校の越境が一応なくなり、残る三年間で小学校の越境も皆無にできるものと同教育委員会では計画をたてている。

合併をパレード

民間団体が67台で

合併問題は愈々最終的段階にさたので即刻合併決議をしてもらいたいと平市の民間団体が立ち上り、去る八日五市をパレードした。二十五団体、二十一企業者百五十人が六十七台の自動車を動員して「早く合併して新産都市を」「郷土のための合併を」と書いた横幕を車にとりつけ五色の風船玉をなびかせながら五市を廻り各市長、議長に要望書を手渡し合併促進をはかったがどの市もこのデモには賛意を表していた。

遠野町の両農協が合併

来年三月に

遠野町の入遠野農協（三戸一組合長、五百三十九戸）と上遠野農協（荒川久馬組合長五百六十九戸）は三十八年いらい、合併について話し合いを進めているが、このほど開かれた合同役員会で、来年三月一日に合併することを決め各農協とも部落座談会を開いて啓蒙を図ることになった。

市民の要望は妥当

田原 登

信念壇

十四市町村の合併問題は依然進まぬままに大詰にきてしまった。県ではこの十一月中に関係市町村が合併を決議して欲しいと要望し、遅くも十二月中に決議してくれないと来年六月一日の新産都市の発足はお流れになる恐れがあると気を揉んでいる。果してそれが出来得るかどうか三十五万市民が心配をしている。

思うに新産都市の指定を獲得する際に石城五市をはじめ九町村は前佐藤知事に対してどういう公約をしたが今にして当時のことを想起しなければならないだろうそれは一切県の指示にまかせるから是非とも新産都市の指定を獲得して欲しいと約束したではないか佐藤知事の死去によってこの問題は木村知事にバトンは引き継がれたが、公人として市町村長は一たん約束をした以上、それに忠実でなければならぬハズである。

然るにこの切端つまった段階に至って勝手気儘な主張をあえてなし、その地区のみの利益を得ようとするが如き見苦しい動きのあることは甚だ遺憾である。斯うした合併問題は十四市町村の総合的事情を勘案して将来の計画を樹るべきものであって、一地方一地区の利益や便利等に捉らわるべき問題ではない。

平市側は合併審議に当っては従来これをスムーズに実現したいため静観と沈黙を守り、他市町村への徒らなる刺げきを避けてきたよだが、そのことをよいこととしてか他市は全く大局を見張った勝手な主張をなし殊に磐城市の如きは市庁舎も同市に新市名は小名浜などと宛も同市が十四市町村の中心にあるが如き主張を強行せんと企てている。

こうしたことによって本問題は更張り進捗しないで足踏みしているが、平市側は俄然として奮起、静観と沈黙を破って去る十二日初めて市民大会の如き集まりをもち、新市庁舎は平市に新市名は平市が全国的によく知られているから平市にせよと決議したことは少しも無理がない。もしも三十五万市民によって投票で決めることにしても新市庁舎は平市に置けと云う投票は圧倒的多数であることに間違いはないであろう。

事態はかなり混とんを極めて自主的に解決されないようであれば木村知事の出馬を求めて早急に円満裡に解決してもろうよう望みたい。

× × ×
× × ×
× × ×

岡見が岡

合併には誰れも反対ではないのだからその運用のよろしきを得れば案外スムーズに合併されるだろう市庁舎の位置問題などは常磐地区の中心が平市なのだから普通の常識さえあれば平市に置くことに異存はあるまい▼それをこのどさくさまぎれに火事泥式に引張ってやろうか等と間違った野心を出すから審議は混乱してくる。▼しかし最早や事は急を告げている。野心や掛け引きなどをやっている秋ではない。常磐地区という大局をながめて私心なく決めるべきときだ▼平易な呼び名の平市もよい。平市小名浜、平市湯本と云ってもその地区の人々が何らコケンにかかわる感情を起こすこともあるまい。それに強い抵抗があれば平市の名にこだわることもなかろう。それだけの大きなハラも持ってかかるべきだろう。

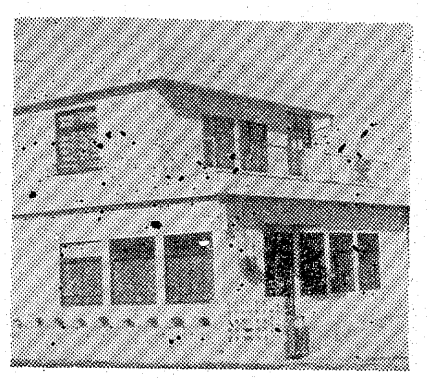
× × ×
× × ×

旅は安心して
泊まれる宿
旅館賠償責任保険加入
日本交通公社協定旅館
日本観光旅館連盟会員
旅館 甲陽館
平市駅前電（代）3181

産科婦人科
井坂医院
井坂久吉
井坂浩二
平市田町 電二五五九

平名物手つくりの味
いわきあられ
味覚堂
平市古殿治町七
真田昌秋
電（平）二二九二二

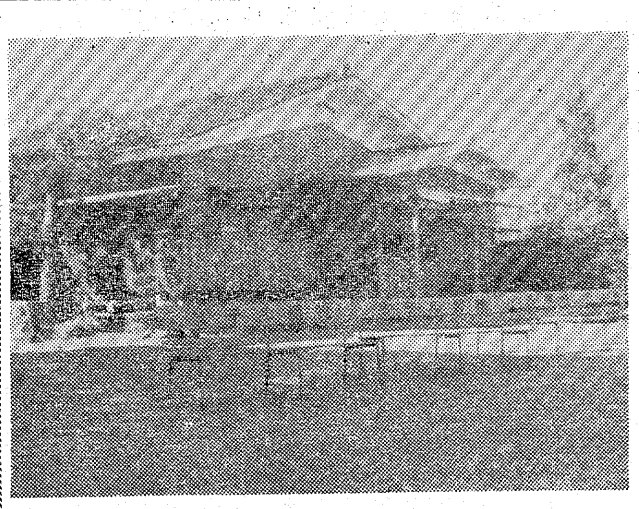
新築移転開業のお知らせ
御挨拶
謹啓 弊社創業以来ここに十三周年を迎え業務ますます隆盛に赴きつつありますことはひとえに皆様方の御引立、御愛顧の賜物と深く感謝しております。
さて今般被災を蒙り且つ営業の拡張を計り社屋の新築を致しておりましたところ、このほど落成致しました。
今後尚一層の御指導を懇願申し上げます。
敬白
銘酒〝夢心〟発売元
東洋酒販株式会社
社長 杉田松太郎
平市堂根町四電三一八八



純日本式、別館完成

ホテル報徳　川魚料理はじめる

内郷市御厩のホテル報徳（報徳会館）は豪壮華麗であり設備も完備して静かな行き届いたサービスが好評を得て、結婚式披露や団体の利用者が多く繁昌しているが、大方の要望に応じてかねて会館西側に純日本式別館を新築中だったが、このほど綺麗に完成、鯉料理をはじめ川魚理もつくりお客様から歓迎されている。新館は八畳間にバス付一間、六畳間五室で数寄屋づくり、木の香もただよう純日本間であるのでお泊り客の利用者も多い。



なおホテル報徳は豪壮なため利用料金が高いのでないかと疑懼する向もあるが、バス、トイレ付特別室でお泊り二食つき二千五旦円、他の十室は二千円、新館はバス付八畳間が二千円他は千五旦円と普通のお値段である。

（写真、完成した純日本式別館）

沖縄へ十五人招待

ハワイアンセンターへ五百人を招ぐ

平の年末年始連合大売出し

平市商店会連合会（中野勇雄会長、五百店は）年末年始売り出しを決定した。〃五百円で沖縄旅行招待〃のキャッチフレーズで、十年ぶりに連合大売り出を復活、昨年の三割増し二億五千万円の売り上げを目標に強気の商戦を展開することになった。同売り出しには三つのデパート、新市地区の商店も共同歩調をとることになっており、消費都市にふさわしい全市一本化の体制をここに確立することができた。

平市の年末年始売り出しはこれまで各商店会単位、デパートごとにマチマチな計画で行なわれ、消費者側としては買った場所で抽せん券やサービスが違うなど不便な点が多く、せっかく集めた補助券がまとまらないまま棄ててしまうケースも少なくなかった。

平市商連としては役員改選を契機に、常磐地区の商都にふさわしい活動を再確認し、その第一事業ともいえる年末年始売り出しに一本化体制を打ち出したもので、すでに三つのデパートと常磐交通が特別会員として入会、これをさらに新市地区商店にも入会を進めている。

年末年始売り出し計画は、期間を十二月十二日から正月五日まで二十五日間とし、例年より十日近く延長した。買い物五百円（チケットを含む）ごとに抽せん券を出し、特賞は沖縄招待（十五本）一等サーキット七十五本（二軍線の七十五百円相当）二等常磐ハワイアンセンター招待（五百本）このほか四等までからくじなし。

全国的に不況ムードであるが年々給与の増えてる勤労者稲作を始め農作物の豊作など購買力は昨年を上回っていることは確実とみており、昨年実績の三割増し二億五千万円を売上げ目標に、強気で一年の総決算にのぞむことになった。

西丸釣具店が指定店に

常磐炭砿から

平市新川町西丸釣具店はつり竿も製造している店で知られているがこのほど常磐炭礦つり会の指定店となった。

インド洋へ

福島丸出港

小名浜水産高校の練習船〃福島丸〃は、きたる二十日神奈川県の三崎を出港、インド洋のマグロ漁場へ向かう。こんどの航海には、本科生三十人、専攻科生十人が実習のため乗船、シンガポールにも寄港、市内を見学する計画。航港日は、七十余日、来年二月はじめ三崎に帰港する予定。

商店経営の講演会開く

平市中小企業相談所主催の「嵐に負けない商店経営」講演会は、二十三日午前十時から商工会議所ホールで開く。講師は東京・中小企業診断員須田大蔵氏。

百三十運転者が血液を検査

平市自動車会亜窪分会（渡本勇分会長）では二十八日松後三時から四小校庭で平署主辺交通主任を講師に招いて道交法改正にともなう法令講習会を開いたが、席上出席した会員百三十人がそろって血液型の検査を行なった。同検査には赤井診療所員が当ったが、運転者分会全員で行なったのは平署管内では初めて。

老中　安藤対馬守【9】

鈴木光四郎

一月十五日

幕府は安藤対馬守信正を老中に任じ外国事務取扱を命じた。信正は外交の最高責任者として遣米使節の指揮監督に当ることになった。

一月十八日

遣米使節新見正興一行は、米艦ポーハタン号に搭乗して品川港を出帆した。

一月十九日

幕府軍艦、咸臨丸はポーハタン号に前後して浦賀港を発し米国に向った。勝安房や福沢諭吉も同乗したが、後に明治維新の中心人物になる第一歩ともいうべき海外旅行となった。

二月十四日

一行はハワイ国ホノルル港に寄港した。出発以来二十三日を要し見るものすべて、彼等には珍らしいものばかりであった。

二月十日の咸臨丸日記

晴　今日まで残らず用意も整ったので午後三時半、浦賀港を出帆した。わが国始まって以来、初めて数千里を航海するのだから、どんな気候に出会うのか皆目見当がつかなかったので一同心の内では、もうこれで日本も見おさめかと名残り惜しく眺めた。蒸気をたいて船を廻して出ようとしたとき、日本の商い舟にぶつかって舟のトモをこわしてしまったが、そのまゝ沖へ出て行った。午后五頃から大風雨となって日本の山も見えなくなり、心細くも沖へ沖へと出て行くのであった。午后六時を過ぎると風は益々激しく大波はデッキに打ち上げて滝のように船室に流れ込む有様、船室の浸水は二尺余に達して荷物その他水の中を流れ歩く始末、一同閉口して言葉もない。大部分の者は船酔いに苦しんでいる。

出帆四日目の二月十三日は又々風が吹きすさみ、波も高く、船の動揺は昨日よりひどくなって、波はデッキの上に打ち上げて流れ去る船の傾斜は三十七、八度に及び動揺が激しいので、立っていることが出来ず、縄や柱につかまってしのいでいる。寝る時も箱の間に入って転がり出さないようにするという調子なので気の休まる暇がないから、日本人一同全く疲労してしまった飯をたくことが出来ないので干飯を蒸してようやく食べるのであった。勝艦長は船室に入ったきりで全く顔を出されない。

二月二十六日

幕府軍艦咸臨丸はサンフランシスコ港に到着、出発以来四十四日を要した当時の状況浦賀を出てから四十日余、全航程二千二百七十二里の荒海を航破して、この日本海軍始まって以来の大壮挙の最後の日が来たこの日快晴、早朝五時に左の方に一点の山が見えた。カリフォルニヤである。八時からは蒸気機関をかけて次第に近づいて行った。右の方に小島が五っあって、その上に灯台が立っている。九時、水先案内の船がやって来た咸臨丸は停止して水先案内を乗り移らせた。湾に入ろうとすると、右の方には高い山があって煉瓦で築いた城のような砲台がある。大砲は三百七十門もある。咸臨丸は中央のマストに日の丸の旗、後の柱に軍艦奉行の紋所をカリフォルニヤの朝風にひるがえしつつ堂々と進んで行ったのである。

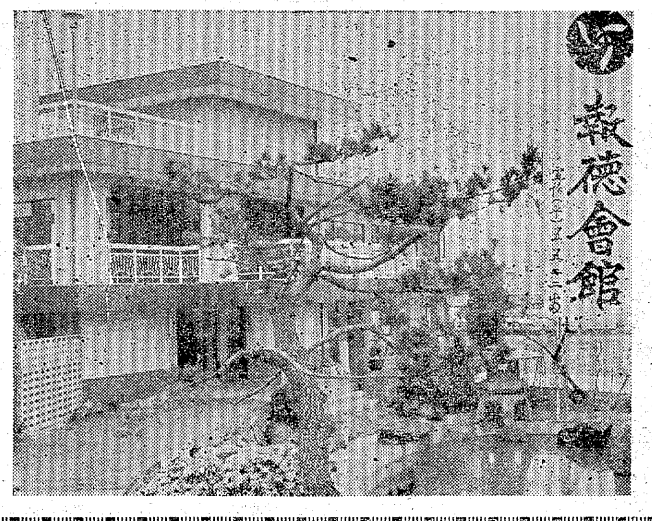
技術と信用の店
家具のセンター
ナガキ
平市三丁目　TEL4535

平市五丁目
大谷石
井上
電二〇六六

レストラン
サロン
平市銀座　電二五九二

家具のデパート
本　丸ほん
平市三丁目　電5131（代表）～3

ご婚礼に　ご会合に　お宿泊に
忘年会新年会をお早く御予約下さい
日本交通公社指定旅館　ホテル　報徳
常磐線平市　電話（平）5522～5523



明るい家庭に
ダイヤモンド毛糸
株式会社　ハシモトヤ
平市田町　電4316　4315

集団用駆虫剤
◇常磐マクサント錠◇
福島県小中学校長会
福島県学校保健協会
第島県学校薬剤師会　推薦
特製品　ネオマクサント錠
防疫薬品－農薬製造
家畜薬発売　元
常磐化成株式会社
平市大町28　電370・6560

四億円で本館新築

共立病院42年春に竣工

石城地区市町村立総合磐城共立病院（畠山靖夫院長）では創立十五周年を迎え、本館を新築する事になり去る一日五市長、議長、七ケ市町村長病院組合議員、工事関係者など多数が出席してその起工式が行なわれた同病院はベット数九百をこえる常磐地区最大の病院で常磐地区十四市町村合併後の市立病院にふさわしく、充実した病院にする計画で完成は四十二年四月三十日の予定、現在の本館は二十五年十一月につくられた木造二階建てで老朽もひどく、現在の病院ではこれ以上入院患者を収容することもできないので新築の運びとなったもの。新築される本館は総工費四億円、鉄筋コンクリート一部四階建てで面積は八千七百七十八メートルで鹿島建設の手によって施工される。

この工事が完成されると内容設備ともに面目を一新してモダンな病院となり一般の人達から早くもその完成が待たれている。

市民会館〝どんちょう〟

棟方画伯に原画頼む

平市は来年四月十一日にこけら落としをする市民会館の晴れ着でもあるドンチョウの製作について審査員の中西一路、若松光一郎、近藤広記、野木健男（建築士）の四氏にはかった結果、板版を始め油絵、倭絵で知られる国際的画伯棟方志功氏（六二）に〝じゃんがら念仏踊り〟の原画を依頼することにきまった。

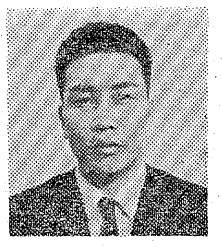
棟方画伯はこのほど夫人同伴で来平、中山の林寺境内で中山青年会によるじがら念仏踊りを見たうえ、ドンチョウの原画を描くことになった。

大きさは高さ九メートル幅二十三メートルの超大作で、今では京浜地方を始め全国に紹介した〝いわきじゃんがら念仏踊り〟をドンチョウいっぱいにどのような表現をされるかが話題の中心となっている。

棟方画伯は明治三十六年九月十五日に青森市で生まれてカジ屋をついだが、大正六年から上京して画界に入り、昭和六年に油絵で帝展に入選、同八年国際美術展の推せん賞を受け、同十三年に出品した版画「善知鳥」が帝展特選となり、その後スイスを始めアメリカ、ヨーロッパで活躍、三十五年に日展評議員に、ついで板画功績で藍綬褒章をうけるなど、とくに板画部門で活躍、油絵、倭絵でも国際的な存在。

新井氏が中国へ

一カ月間の招待視察



平市の松村病院労働組合長新井唯一氏（県医療労働組合協議会副議長）は石城地方労働組合協議会代表として県労働組合協議会派遣訪中使節団の一員に選ばれ訪中する。

使節団は県内各界労働者の代表一行二十名で、中国総工会の招きにより十一月二十日羽田空港発香港経由で広州に入り北京、武漢、南京、上海杭州及び旧満洲国など中国の主要都市をめぐり労働、財政、農工商業、教育文化などを一カ月間にわたり視察するもので、県単位で代表二十名もが中国へ招待されるのは日本ではじめてである。

尚新井氏は十一月十七日朝平駅から出発、使節団に加わる

（写真は新井氏）

水産会館を建設

鉄筋三階建て　来年五月完成

県の水産業界ではかねて関係機関の総合ビルである水産会館の建設を計画していたが建設地を平市三十九町地内の九百三十・六平方メートルに本決まりとなり、同用地を買収、整地を終えた。建て物は総工費約五千万円で鉄筋コンクリート三階建て延べ一千百二十二平方メートル近く着工完成は来年五月ごろを見込んでいる。水産会館の建築地は平と磐城市を結び、将来は新湾―平線一級国道が予定されている平小線ぞいの便利なところ。完成後は一階を県信用漁業協同組合連合会、二階に県漁業信用基金協会、県漁業協同組合会、県漁業共済組合県漁船保険組合、三階に県水産事務所の六団体が入る段取りで、十年来懸案の水産関係総合ビルがようやく実現をみ縦横の連絡提携も強固に本県漁業界の振興に大きな役割りを果たすことになった。

平総合グランド建設陳情

平市体育協会（阿部政右衛門会長）ら体育関係者は、近く平市長、議長に総合グラウンドを始め公認プール、室内体育館の早期建設を陳情することになった。

平市の場合は、上荒川地内に市民運動公園建設計画をたてて市営球場をつくったのを始め、ことしは十面のテニスコート建設に着手することに決まった。これを機会に、引き続き公認陸上競技場や公認五十メートルプール、室内体育館を建設、地区民はもちろん東北、全国大会を誘致するなど地区スポーツセンターにしようというもの。

大好評の母親教室

平保健所では毎週火曜日午後一時から三時まで母親教室を開いているが、受講者がワンサと押しかけ係員にうれしい悲鳴をあげさせている。

同教室は月四回開くもので各週とも講習内容を決めており、欠席しても翌月受講できることになっている。内容は妊娠の生理と摂生から妊娠中の栄養、赤ちゃんの衣服、家族計画などについて保健婦、栄養士、医師から講習を受けるもので、希望者は管内の市町村に申し込み、当日母子手帳を持参すればよいことになっている。

海浜センター建設

勿来の脱衣業者らが

勿来の関跡をバックに京浜隣県からの入り込みが年々増えている勿来海水浴場のこの夏は、延べ八十万人（市観光課調べ）という記録破りの人出でにぎわい、この分では百万人突破も間近。このため脱衣場組合（佐藤忠一組合長、二十四組合員）はこれまでの間に合わせ的なバラック脱衣場から本格的な鉄筋コンクリート造りの脱衣場建設を計画融資あっせんについて勿来商工会議所と話を進めている。

海浜センターともいうべき新脱衣場は、総工費三千万円を投じ、屋上を駐車場とした三階建て鉄筋コンクルートで収容人員三万人、宿泊施設から入浴、シャワー更衣室、食堂などの完備した海浜ホテルともいえるもの。資金は組合員が五十万円ずつ出し合って不足分を融資してもらうというもので、来年度から三カ年計画で完成させる構想。

佐藤組合長の話―どうやら勿来海水浴場も京浜を始め外客の遊び場とて安定して来たので、いつまでもバラック建てでは不便をかけることにもなると相談がきまったわけです。これが完成すれば春のさくら、秋冬の勿来の関跡見物を含めた観光センターになるものと自負しています。

御厩小の体育館を建設

一月に完成

内郷市御厩小の体育館建設工事は、東部建設の手で進められているが鉄骨の組み立て工事が始まった。

同体育館（工費千百七十万円）は鉄骨平屋建て五百九十四平方メートル、内部にバスケット、ろく木、鋼鉄棒などのほか、数多くの施設が完備される。

完成は来年二月の予定。なお市内七小学校では御厩小が初めて。

寄生虫予防のポスター募る

平保健所は二十一日から三十日まで行なわる寄生虫予防運動にちなみ、管内小、中学校児童、生徒からポスターと作文を募集する。ポスターは画用紙の規格五十五センチ×三十八・八センチ、タテ、ヨコは自田。作文は四百字詰め原稿用紙四枚で題は自由。締め切りは来月二十日。発表は来年一月下旬。入賞作品一等一点、二等二点、三等三点、佳作五点に賞品が贈られる。

問屋も泣きフ
ジコシも泣き
婦人スラックス二九五円、カーデガン五八〇円という今度の売り出し人気商品は問屋もフジコシもムリにムリを重ねた特別提供品です
婦人バルキーカーディガン　五八〇円
婦人ジャージスラックス　二九五円
紳士モヘヤバルキーセーター　五八五円
毛布丹前　五八〇円
布団カバー　二九〇円
子供パイルソックス　五八円
フジコシ

キャプヤンテツクス，ミユキテツクス，他一流メーカー品
個性美を活かす注文服
着てゆったり　見てぴったり
すばらしい技術です
最新式ししゆう用シンガーミシン新設
大平洋服店
平市堂前　電三九七二
大平洋服店ネーム部

内科・小児科
後藤医院
平市古鍛治町　電三〇三六

平の代表的土産品
平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する
銘菓　中最六段
六段本舗　平凡　平駅前
電　2,506

おいしい
パンとケーキ
市川パン店
平市中央通り　電二九三六
三十米通り支店　電五九一三
工場　旧城跡　電五九〇六

平名物
味じまん
甘太郎焼
真根井菓子店
平市銀座通り　電四〇二五

お茶のおいしい冬訪ずる！
◎甘みの部（宇治茶）　香りの部（煎茶）
宇治の香一号　100g付　五〇〇円　100g付　新茶
同　二号　〃　三〇〇円　宇治の司四〇〇円
同　〃　二五〇円　同　三〇〇円
新発売！
寿印（ほうじ茶）
大門印（ほうじ茶）
大勝園茶舗
平市三丁目　電二三九六

法人財団
松村病院
診療科目
院長　松村亨
外科　部長　松村亨
整形外科　院長　谷川国男
皮膚科　部長　豊川保雄
内科　副院長　金瀬克慶
胃腸科　部長　佐々木富慧
呼吸器科　部長　佐々木慧
小児科　部長　金子甚蔵
神経科　部長　佐藤道
産婦人科　部長　白木沢長史
精神科　部長　佐藤慧道
放射線科　部長　佐々木慧
（コバルト室）
本院　平市南町二三　電話（代）二二六一
舞子浜病院　平市藤間字松原　電話（高久局）六二一
城南分院　平市小太郎町一八

十年間に六〇〇〇戸が離農

専業農家わずか二割

新産業都市をめざす常磐地区は工業用地や住宅用地などの造成が進んでいるため、毎年田畑が百ヘクタール以上もつぶれており、県石城事務所が調べた管内の耕地は（十月末現在）田が七千六百五十九・二ヘクタール、畑一千八百四ヘクタールとなっている。三十年ごろには一万六千戸といわれた農家も、現在は一万五千四百八戸と約六百戸が離農し、兼業農家は全体の八割を占めるほどになり、農業経営は根本から変容してしまった。

石城地方の農家一戸当たりの平均耕地面積はは知れたもの。生活を維持するためには、他に収入の道を考えねばならず、他産業に働きに出る者が多くなった。

とくに都市近郊の農村にあっては、会社や官公庁に勤める者がふえ、そうした兼業農家は生活にも余裕が出て来て、兼業農家は増加する一方。若い者は農業を嫌って都会へ流れているため、人手不足が大きな悩みとなり、三ちゃん農業時代に移り、新産都市建設に伴う産業開発が、さらにこれに拍車をかけている。山間部でも労務者として農閑期を利用した出かせぎがふえ、県農業会議も出かせぎ対策として、縁故就職の場合でも職安を通じて就職するよう呼びかけることになった。こうした情勢から現在では専業農家は減る一方で、全農家一万五千四百八戸のうち、専業農家はわずか二千九百七十九戸と、全体の二割足らずになった。

兼業農家では収入を主として農業に求めている第一種兼業は六千五百九十三戸、農業を副業としている第二種兼業は五千八百三十六戸となった市町村別農家戸数と水田の面積は次のとおり（カッコ内戸数は専業農家）

▽平市　三千五百三十三戸（八百七十三）一千九百四十四ヘクタール▽常磐市　七百十二戸（二百二十二）四百一ヘクタール▽磐城市　三千三十五戸（五百三十九）一千二百十五ヘクタール▽内郷市　六百六十戸（九十三）百二十九ヘクタール▽勿来市　二千三百七十九戸（五百二）一千三百三十九ヘクタール▽遠理町　一千百七十二戸（九十四）五百七ヘクタール△田人村　六百五十九戸（二十二）百六十四ヘクタール▽好間村　六百五十一戸（百十四）二百二十三ヘクタール▽小川町　九百三十戸（八十五）三百六十九ヘクタール▽三和村　八百八十六戸（百六）四百九十二ヘクタール▽四倉町　一千三百六十四戸（三百二）七百七十二ヘクタール▽川前村　四百二十七戸（三百三ヘクタール。

うち建設省認可のあった百十一戸の払い下げについて入居者と話し合った結果、十二月二十五日までの猶予期間をおき、払い込みとともに契約することにきまった。払い下げ価格は総額で四千万円を越すが、最高五年間の分割払いも固定資産税がかかるなど不利な点もあって即納者が多いものとみている。

市では七軒町、谷川瀬団地からの払い下げ陳情もあるので、こんどの払い下げがきまれば引き続き分譲申請を考えているが、一応対象とみられているのは七軒町七十戸、北目五十戸、柳町八戸、下河原十五戸の合計百四十三戸。

豪華な体育館

勿来工高で落成式

勿来工業高等学校創立五周年記念並びに体育館落成式典はこのほど盛大に行なわれた。体育館の建築施行者は常磐市渡辺組で、構造は壁体鉄筋コンクリート上家鉄骨、面積は一千百平方メートル、付帯設備は日東電機株式会社が請け負い、照明（水銀灯白熱灯のクカテル、二百ルックス）屋内消火栓、火災警報器、放送設備、シャワー室などが設けられ、県下に誇り得る近代的な豪華なもの。工費は二千三百九十万円。

更に払下げ

平の市営住宅

平市は二十三年から二十八年までに建設した市営住宅のど賑った。十月三十一日の日曜日には終日降雨があったがサメ川ではスバ、ボラが盛んに揚がり何れも貫匁つりに恵まれた。エサさえ確保してあれば今後もお正月ごろまではつれる。

フナは寒さの訪れで小川の浅場から本流の深場へ落ち込む時期となり、横川のハツチンやスズメ屋前などで七、八寸の大物に恵まれた人もある。近年冬も案外暖かなためがつり場は深場に限らず浅場でも揚るようになってきた。一時海水が入ったため更張りつれなかった藤間沼が最近になってポツポツ揚るようになり寒ブナが期待されるかも知れない。

川柳　龍城から

渡辺一角作

思う事叶えば叶った嬉し泣き
日本に住んで赤字は世間なみ
新機軸　ただ上塗りをしたばかり
無理をして新生活にある苦味
手のつかぬ空の大きい開拓士
床上げの　やれひげをそれ爪をきれ
履歴書も　出来たこれから爪をきり
国宝に　なった千年経った色
不景気も　不知マネキンはやらす気
課長級いつしか渋味顔にみせ
湯上りの　皆くつろいだお茶の味
先生の子で先生が大きらい

才槌小路の地下道完成

平市才槌小路踏切の地下道は一部の工事を残して完成、自由に交通しているが、このため才槌小路商店街でも人通りが従前にもまして多くなってきたのでホットしている。

チンチンの最盛期

寒ブナもぽつぽつ揚る

冬の訪れで気温もぐんと下り、日照時も一カ年中最も短かい時期となったが、それでもつり師にとっては最も魚の釣れるよい時期である。

チンチン、カエズ（黒ダイの子）は十一月に入って盛んにつれ出し、平市沼の内、豊間、双葉郡久之浜の各築港内は毎月つり師たちで押すな押すなの盛況、今年は例年に比して案外型が良く数も多いようで一日に一束ぐらいつる人も珍しくない。エサはモエビまたはイビガニである。外洋が荒れ、海水が濁ったときなど全く面白くつれる。これからは型が小さくなると思われるが真黒に群をなくして築港内に押し掛けてくるので、二三束もつれることもある。十二月の中旬までがつり時期であろう。

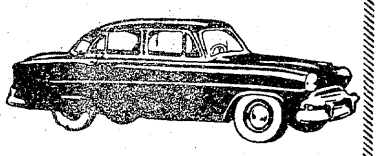
スバ、ボラの釣れる好時期となった。十月下旬になってこの魚のこのむエサのオヨギが出たのでサメ川、滑津川なども揚るようになってきた。

淡白な味のオイカワは賞美する人も多いが、型が小さいため釣り味が少ないとて、つる人もすくないが横川ではエサはゴカイがよく、夏井川、滑津川、サメ川等ではキジ、赤ムシ等で撒き餌をしながらつれば案外に揚るかも知れない。寒オイカワはつれないものときめていたが、昨冬は横川において赤虫を使用して一日二十尾ぐらい揚ったこともあり、今冬もやって見るべきだろう。

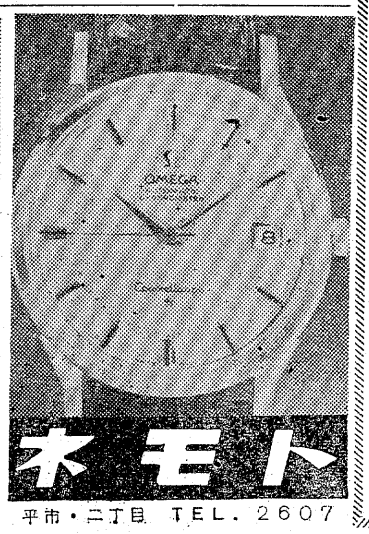
印刷は加納活版

福島県知事登録
土木建築請負
遠藤工業株式会社
代表取締役　村上市蔵
本社　平市大町四六　電三三〇九
出張所　石城郡三和村上市萱　電沢渡二四

錦繡の秋です
バカンスです…
タクシーは尼子です…
（電代）二一七五・二六四〇
好間営業所は　五三七二
草野営業所は　五六四七
平市二丁目
尼子タクシー

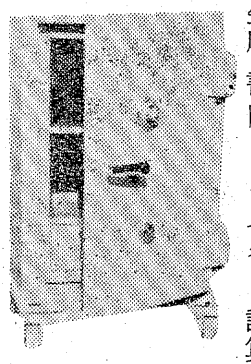


時代と共に…
既製服なら
盛高屋
平市3丁目・TEL.3608



平市・二丁目　TEL.2607

初冬の期節ご料理を
どうぞ……
寿司の江戸川
平市紅小路店　電二七二一
才槌小路店　電三〇二一


金庫　書庫　レジスター　計算機　事務機
萩金庫商会
平市三十米通り
TEL　2631・3352

株式会社
常磐ヤンマー製作所
社長　新妻良平
平市一丁目
電四三二六・四三二七

平競輪
発売　11時30分
前節　11月　13・14・15
後節　21　22　23
12月　18　19　20　25　26　27